

📷 干物など伊豆の名産品を販売
わくわく朝市



▲買い物を楽しむ来場者

11月3日、伊豆ゲートウェイ函南で「わくわく朝市」が行われました。
同イベントは熱海市と函南町の広域行政推進の一環として行い、両市町の名産品を知っていただくために開催しました。
当日は4店舗が出店しサバやアジなどの干物、海苔、お茶、菓子、パンなどを販売しました。
会場には、地域住民だけでなく県内外の観光客が訪れ、買い物を楽しむ人でにぎわいました。

📷 道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」
来場者 200 万人達成

11月3日、伊豆ゲートウェイ函南がオープンして551日で来場者200万人に達成し、記念式典が行われました。
記念すべき200万人の達成者は、小池栄一さんの一家4人（東京都在住）で関係者とくす玉を割り、函南ブランドの詰め合わせなどの記念品が贈られました。
小池さんは、「下田に行く途中に寄ったが200万人目ということで驚いた。初めて来たが美味しいソフトクリームや野菜などいろいろなものがあるのでまた立ち寄りしたい」と話してくれました。



▲ 200 万人目の来場者の小池さん一家

📷 小学生と「火の用心」
火災予防運動防火パレード



▲パレード前に敬礼をする丹那小学校の参加者

11月9日～11月15日は秋季全国火災予防週間です。
11月4日、秋の全国火災秋季予防週間に前に町内で火災予防運動防火パレードが行われました。
パレードには、丹那小学校5・6年生9人、函南町消防団、田方北消防署が参加しました。
参加した小学生は消防車に分乗して「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」などの標語で防火を呼びかけ、町内を消防車で巡回しました。
また、町内のスーパーで女性消防団員による街頭広報が行われました。

📷 アルミ缶回収に全校児童が取り組む
東小学校が優秀校受賞



▲表彰を受ける山本さん（左）と仁科さん（中）

このほど、東小学校がアルミ缶リサイクル協会からアルミ缶の回収優秀校の表彰を受けました。
優秀校は活動年数や年間の回収実績、1人当たりの回収量などから選考され、平成30年度は全国で54校が選ばれました。東小学校は13年間活動を続け、昨年1年間で68キロのアルミ缶を回収したことが評価されました。
代表で、福祉委員会の山本佳亮くん（6年）と仁科千鶴さん（5年）が表彰状を受け取り、「これからも多くのアルミ缶が回収できるようみんなと協力していきたい」と話してくれました。

📷 リユース、リデュース、リサイクル
フリマで3R 推進

11月3日、函南町役場駐車場でフリーマーケットが行われ、58区画の店舗が出店しました。
会場では、衣類やバッグ、靴、おもちゃ、食器などさまざまな品物が販売され、目当ての品を求める大勢の来場者でにぎわいました。
この他に液肥の無料配布やコンポストなど生ごみ処理機の紹介、ごみの削減、地球温暖化防止に関する展示、災害時のペットの同行避難や避難所での生活の方法についての展示などが行われ、環境保全について来場者に促しました。



▲買い物を楽しむ来場者でにぎわいました

📷 8,000 人の来場者でにぎわう
第 42 回かなみ商工まつり



▲今年も大人気の福引は長蛇の列になりました

11月3日、函南町商工会前広場、函南中学校駐車場で「第42回かなみ商工まつり」が行われました。
同まつりは、商工会と住民とのふれあいや地域密着を目指すことを目的に開催され、商工会員や建設組合などを中心に30団体が出店しました。
田方農高と商工会の共同企画で誕生した地元産の小麦や乳の粉を使った「函茶うどん」の販売や各種模擬店、福引、ダンス、しゃぎり、乳搾り体験などが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。